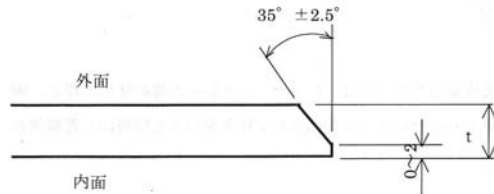


## 正誤表

### (その1) 3ページ 1.1の(1)と(2)の間に下記文章と図を挿入

その一例として手溶接(管径 700A 以下)の場合の開先形状を下図に示す。この他適用するステンレス鋼管規格(JIS G 3459、JIS G 3468 など)に規定される開先形状も適用できる。また、自動溶接の場合は、使用する自動溶接法に適した開先形状とする必要がある。



手溶接(管径 700A 以下)の場合の開先形状例

### (その2) 44ページ 表 4.6 RF-GF 形フランジの面間寸法 (参考) を、下表に差替え。

呼び径(A)	面間寸法 ( $\delta$ )	隙間管理値 ( $\alpha$ )
80~250	4	8
300~700	4	10